



2020, 4, 30

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO2

(みんなちがってみんないい!)

*なわぜ式 お帰りの会

ある日、ひまわりクラスの担任が、「園長！お帰りの会をみてください！」と嬉しそうに言ってきました。「なに？なに？」と行ってみると、子ども達が自分たちでお帰りの会をやっていました。リーダーは2名の5組さん。後は全員椅子にきちんと座って、前を見えています。リーダーが「今日は何を歌いますか？」と聞けば、「うぐいすが歌いたい！」「虹が歌いたい！」「心の根っこが歌いたい！」と意見が出てきます。リーダーはみんなの意見を聞きながら、「最初は、うぐいすを歌います。せーの！」と言いながら皆をまとめていました。担任、ニヤニヤ嬉しそう。園長はただただ、びっくり。そこに大人の介入はありません。歌と言葉遊びが終わり、カレンダーを1枚めくり、それが終わるとリーダーさんが、「終わりましたよ。絵本を読んでください。」と言いに来て、そこで初めて担任の登場。

子どもの自主性ってなんでしょ？やらされ感の全くない、楽しんでいる姿に本当にうれしく感じました。3組さんも誰一人として、ウロウロする子もおらず、騒ぐこともなく参加する姿が可愛くて可愛くて。

大人が引っ張っていくところはいきません。常に担任は「はい、こっちを見て！」「はい、ウロウロしないでね！」なんて言葉が出てきたりして……。子どもを信じて、子どもにやらせてみることの大事さを、今更ながら感じた出来事でした。……これは 今年の1月の事でした。

あれから、5組さんが卒園していきました。新5組さんは、あのリーダーになりたくて、うずうず。「今日から私たちがリーダーになっているの！」と担任に聞いてきました。「もちろん！期待していますよ！」との返事に担任も嬉しそう。その日から毎日、元気にお帰りの会をする声が聞こえてきます。未満児から上がったばかりの新3組さんも、椅子にちょこんと座って、一緒に大きな声で歌を歌っています。



*思いやり

Yちゃんは、小さいお友達が大好きです。いつも、小さいお友達を気にかけてくれます。Tくんは、1歳児。つかまり立ちはしますが、まだ歩けません。でも、はいはいをしながら園庭を探索しています。そんなTくんを見せたり、花を見せたりするのが、Yちゃんです。TくんはYちゃんが大好きで、Yちゃんが見えたととてもいい笑顔を見せてくれます。その姿を見ていて、本当にほほえましいです。

縄瀬保育園は、縦割り保育をしています。いつでも、自分と違う年齢の子ども達が触れ合っていて遊んでいます。社会の変化とともに、少子化になり、1人っ子、兄弟2人、多くて3人という家庭が多くなり、子ども達の



人間関係の幅も狭くなってきました。地域においても、子ども達が群れて遊ぶことがなくなってきました。こちらの方言で言う「子ども、子どもどし（子どもは子どもの中で育つ）」ということ学ぶ機会が、少なくなっているような気がします。保育園では大きい子は、小さい子にやさしくする。小さい子は大きい子にあこがれる。という当たり前のことを沢山経験してほしいと思っています。それが基本になって「相手を思いやる」という人として大切な思いを持てる大人になると信じています。